

「まごころ養成事業PART2」

～ボランティアスキルアップセミナー～

★事業の概要★

事業のねらい

子どもとの関わりをとおして、ボランティアとして必要な知識や技術を身につけ、青少年教育施設ボランティアとしての資質の向上を図る。

期 日

平成25年6月15日（土）

会 場

国立大雪青少年交流の家

対 象 者

高校生以上でボランティア活動に興味や関心のある方

参加者数：参加募集人数

20名：20名（参加者内訳：高校生1名 大学生17名 一般2名）

講 師

国立大雪青少年交流の家職員

日 程

	9:20	9:30	9:45	10:00	10:30	11:00	12:30	13:30	15:00	15:10	15:30	16:00
6/15 (土)		受付	開会式	レクチャー	子どもたちとの出会い	望岳台 ハイキングラリー	昼食	知っトコ+勝岳 思い出ツクリ	閉会式	見送り	解散	

★プログラム紹介★



「レクチャー」

子供たちと一緒に体験活動を提供していく役割の重要性について、テキストを活用しながら説明した。



「子どもたちとの出会い」

子供たちと出会って初めての時間。子供たちの緊張を解すため、グループに分かれてゲームをした。



「子どもたちとの出会い」

雨天のため、体育館でグループ対抗の競技をした。子供たちと一緒に楽しんだ。



「遊びリンピック」

子供たちが「遊びリンピック」にチャレンジ、ボランティアは、競技のサポートをしたり、子どもを励ましたりした。



「クラフト体験」

参加した思い出の作品づくり。子供たちに作り方の説明を行い、アドバイスをしながら一緒に製作した。



「読み聞かせ体験」

本の持ち方やページのめくり方に気をつけながら、子供たちが喜んでくれるように、読み聞かせを行った。

企画・運営のポイント

- 1 ボランティアが、お手伝いだけでなく、プログラムの進行も行えるようなプログラムとした。
- 2 参加者が、ボランティアとして必要な知識や技術を体験的に学べるプログラムとした。

事業を終えて(成果・課題)

- 1 クラフト作りの説明をしたり、読み聞かせをしたりと、プログラム運営にも参加し、プログラムの進行に必要な技術について学んでもらえた。
- 2 打合せの時間が少なく、キッズ事業の内容を詳しく伝えることができなかった。

今後の方向性

- 1 泊2日の日程にし、前日にキッズ事業の内容をきちんと理解してもらったうえで、ボランティアとして必要な知識や技術を体験的に学べるプログラムにしていく。